



写真:不動池(平成21年8月8日)

# ノリウツギ

盛夏にえびの高原を彩る白い花々。コバルトブルーの水面に白い花がさわやかに映える。

**夏** 本番を迎え、ふもとでは暑い日が続いています。標高1200mのえびの高原は、平地より約7℃気温が低く、30℃を超えることはほとんどありません。山登りをすると強い日差しに汗が流れますが、立ちどまるとひんやりと涼しい風が吹いています。

盛夏にえびの高原を彩るのはノリウツギ、ナツツバキやリョウブなどの白い花々です。

ノリウツギは噴気地帯や地獄谷など、火山の影響を強く受ける場所にも育つことのできる植物で、別名「地獄花」と呼ばれます。えびの高原にもノリウツギは多く、酸性の火口湖である不動池の湖畔でも見ることができます。コバルトブルーの水面に白い花がさわやかに映えています。

ノリウツギはアジサイの仲間で、花びらのように見える部分は装飾花といって萼がくの変化したものです。真ん中の泡のような部分が小さな両性花の集まりです。花がおわっても装飾花は落ちることなく、ドライフラワーのようになって翌春まで残っているものもあります。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

ノリウツギ  
*Hydrangea paniculata*

ユキノシタ科 アジサイ属